

「岸和田市行財政再建プラン【2019年3月版】」で示された本市の方向性

- ① 0歳～5歳までの就学前の子どもに対する幼児教育・保育のあり方について一体的に検討を進める。
- ② 市内就学前施設の配置バランスを考慮した教育・保育施設の再配置を推進する。
- ③ 市立幼稚園及び市立保育所の認定こども園化及び民営化を進める。

《岸和田市の状況》

■ 就学前施設の状況(H30時点)

項目	公立	民間	合計
幼稚園	23	3	26
保育所(園)	11	8	19
認定こども園	0	14	14
小規模事業所	0	4	4
合計	34	29	63

■ 人口の減少

- ・ 201,000人(H17)⇒194,911人(H27)

■ 就学前児童(0～5歳児)の減少

- ・ 19,671人(S50)⇒9,724人(H27)

■ 女性(25～39歳)労働力率の上昇

- ・ 45.6%(S55)⇒73.3%(H27)

■ 共働き世帯の割合の増加

- ・ 29.3%(S60)⇒44.8%(H27)

■ 市立幼稚園・保育所の施設数が多い

岸和田市:3.50 八尾市:2.05

寝屋川市:1.16 吹田市:1.66

(0～5歳人口・1,000人あたり施設数)

《市立保育所の課題》

- 待機児童の解消が図れていない！
 - ・ 15人(H21)⇒38人(H30)
- 待機児童のうち、1～2歳児の割合が高い！
 - ・ 38人中、29人が1～2歳児(H30)

《市立幼稚園の課題》

- 4・5歳児で定員割れが発生！
 - ・ 充足率:41.1%(H30)
- 1学級あたりの園児数が減少！
 - ・ 33.8人(S48)⇒12.1人(H30)

《就学前施設に共通する課題》

- 保育所、2号認定利用者の割合の増加！⇒⇒保育を必要とする児童への対応が必要！
- 発達に支援を必要とする児童の増加！⇒⇒今後のあり方・受入体制について十分な検討が必要！
- 施設の老朽化が進行！⇒⇒施設の整備が必要！
- 民間施設の運営費(市負担)は、市立施設の約3分の1！⇒⇒市立施設の財政負担は大きい